

— 会 議 録 —

会議名称	川西町地域公共交通会議		
日 時	令和6年3月18日(月) 13:30~14:15		
場 所	川西町役場 中会議室	記 録	遠藤 渡
	委員等名 (敬称略)		出席
会 長	川西町長	原田 俊二	○
委 員	有限会社大京タクシー 代表取締役	小関 照雄	○
	有限会社みどりタクシー 代表取締役	山口 修一	○
	川西観光タクシー有限公司 代表取締役	(山口 修一)	/
	山交バス株式会社米沢営業所 所長	鈴木 正幸	×
	社団法人山形県バス協会 会長	村 紀明	×
	山形県ハイヤー協会 西置賜地区代表理事	目黒 憲夫	○
	川西町自治会長連合会 幹事	寒河江 正陽	×
	川西町女性団体連絡協議会 会長	菅野 明日香	○
	川西町老人クラブ連合会 会長	佐藤 不美男	○
	川西町商工会 会長	寒河江 輝文	○
	川西町社会福祉協議会 会長	金子 正美	×
	川西町民生委員児童委員協議会 会長	高橋 栄一	○
	東北運輸局山形運輸支局総務企画部門 首席運輸企画専門官	角張 英恵	×
	東北運輸局山形運輸支局輸送監査部門 首席運輸企画専門官	田島 宏保	×
	全国自動車交通労働組合 山形地方本部	遠藤 栄二	○
	山形県交通運輸産業労働組合協議会 議長	齋藤 洋次	×
	山形県置賜総合支庁総務企画部総務課 連携支援室長	安孫子 幸一	代理出席 主事 安達 元輝
	山形県置賜総合支庁建設部 道路計画課長	小山 雄司	代理出席 課長補佐 鷺尾 仁主
	米沢警察署 交通課長	阿部 貴宏	○
	川西町 地域整備課長	大河原 孝如	○
	出席者数		13名
事務局	川西町 まちづくり課長	安部 博之	○
	川西町まちづくり課 企画調整主幹	鈴木 玄	○
	川西町まちづくり課 企画調整主査	菊地 絵梨子	×
	川西町まちづくり課 主事	遠藤 渡	○
	川西町まちづくり課 主事	大河原 綾乃	○
飯豊町	住民課 課長	後藤 智美	○
	住民課 生活環境室長	高橋 成樹	○
配布資料	会議次第等一式		

(会議成立)

川西町地域公共交通会議設置要綱第5条第2項（半数以上の出席）により成立。

飯豊町デマンド交通「ほほえみカー」改正に係る協議のため、飯豊町より2名の職員が同席。（飯豊町後藤住民課長、高橋生活環境室長）

1. 開会

2. あいさつ 原田会長（川西町長）

(要旨)

- ・忙しい中、また足元の悪い中、ご出席いただきありがとうございます。
- ・移動手段の自由を町民の皆さんに提供しており、山形鉄道、JR 米坂線、デマンド型乗り合い交通の3つの交通手段を持続性のあるものにしていきたいと、日々改善をしながら取り組んできた。
- ・特にデマンド交通については、タクシー事業者さんによるご協力の中、運行できている。
- ・利用者からさまざまな声をいただいているので、それらを踏まえながら改善し、積み残しについては来年度も引き続き行政側の課題として検討を進めたい。
- ・協議課題としては飯豊町デマンド交通の改正について。
- ・事業者さんを中心にご理解いただきながら飯豊町のみなさんが利用しやすい環境に整えていきたい。

3. 報告

(1) 令和5年度川西町デマンド型乗合交通アンケート結果について

町民を対象に実施したアンケート結果について事務局（大河原）より報告。

意見は以下のとおり。

高橋委員（川西町民生委員児童委員協議会 会長）

質疑 デマンドが早く来たため、病院の前で待っていたとの意見があるようだが、病院等に待合スペースは設けられていないのか。

(事務局)

置賜総合病院について待合所はない。

高橋委員

意見 改善策はないか。今後、改善に向けて検討してほしい。

(事務局)

置賜総合病院にご意見あった旨伝えて、速めの待合室の開場を依頼したい。

小関委員（有限会社大京タクシー 代表取締役）

意見 出発時間の早い運転手がいるのは事実。

山口社長（有限会社みどりタクシー 代表取締役）

意見 当日予約も午後からなのが現実で、利用者の利便性を考えると、デマンドだけに捉われない形での運行も検討していく必要があるのではないかと思う。デマンド開始時からみると、利用者がかなり減少しているように感じられる。

原田会長

質疑 利用者の利用状況は。

（事務局）

コロナ禍により利用者減少が著しい時期もあったが、アフターコロナや当日予約の開始により昨年度と比較すると微増。登録者については平行線。

4. 協議

（1） 飯豊町デマンド交通「ほほえみカー」改正について

飯豊町デマンド交通「ほほえみカー」改正について、飯豊町（後藤住民課長、高橋生活環境室長）より説明。

川西町地域公共交通会議設置要綱第5条第4項（出席委員の3分の2以上）により承認された。

意見等は以下のとおり。

原田会長

質疑 稲毛先生や松木先生の診療を受ける方もなないろ薬局から乗降するのか。

（飯豊町）

そのとおり

原田会長

質疑 利用料金が安くなり、本町としては多少プレッシャーを感じる点でもある。

本町は利用者と行政負担を1対1となるよう利用料金を設定しているが、飯豊町における負担割合はどのようになっているか。

（飯豊町）

運行経費は年間 2,600 万円。収益はフィーダー補助金を含めても全体の3分の1程度。飯豊町のデマンド開始時は 1,800 人ほどいた利用者が減少している現状で、利用料金を減らすことで利用が増えることへ期待を込めた料金設定とした。

遠藤委員（全国自動車交通労働組合 山形地方本部）

意見 他へはプレッシャーになると思うが、自治体の考え方は。

(飯豊町)

利用料金については様々なご意見を頂戴している。社会保障の考え方を持って、高齢者の増加や JR が止まっていることから、町民のみなさんが乗りやすい状況を作り、乗っていただくことで還元していきたいと考えている。

寒河江委員 (川西町商工会 会長)

質疑 値下げすると利用者が増え、収入が増える見込みだと理解してよろしいか。

(飯豊町)

そのとおり。

小関社長 (有限会社大京タクシー 代表取締役)

質疑 協議に直接関係はないが、飯豊町の福祉券が 620 円なのはなぜか。

料金が 620 円になれば、(タクシー会社の福祉割引により) 1 割引いて 550 円を乗客へ請求することとなり、乗客が 500 円の福祉券を 1 枚使うと、残り 50 円を現金でもらっている。飯豊町さんはタクシー事業者による割引はないのか。

(飯豊町)

福祉券は担当が福祉課となるため、詳細がわからない。後日回答したい。

5. その他

原田会長よりあいさつ

(要旨)

- ・地域公共交通会議が立ち上がり、住民のみなさんが安心して生活できる移動環境をこれまで考えてきた。
- ・デマンドは、事業者さんと協力し、県内でもいち早く事業に取り組み、利用者の利便性を図りながら運行ができた。
- ・委員のみなさんには今後も、本町の公共交通についてご尽力いただきたいと考えている。

6. 閉会